

豊島区土砂災害ハザードマップ

Toshima City Sediment Disaster Hazard Map

土砂災害ハザードマップについて

東京都は、土砂災害防止法に基づき、令和5年10月現在、豊島区内に土砂災害警戒区域20箇所、うち特別警戒区域9箇所を指定しています。
土砂災害は、突発的に発生することが多く、発生する場所や時刻を正確に予測することが難しい災害です。いざというときに備えて、土砂災害ハザードマップをご活用いただき、日頃から警戒区域や避難所の位置、避難行動などについて確認しましょう。

●土砂災害とはどのような災害か

土砂災害には、土石流、かけ崩れ（急傾斜地の崩壊）、地すべりの3つの現象があります。豊島区内では、台風や大雨、梅雨の時期の長時間の雨などによってかけ崩れ（急傾斜地の崩壊）が発生するおそれがあります。
かけ崩れ（急傾斜地の崩壊）とは地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

●土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

◆土砂災害警戒区域（通称「イエローゾーン」）とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

■かけ崩れ（急傾斜地の崩壊）の指定範囲

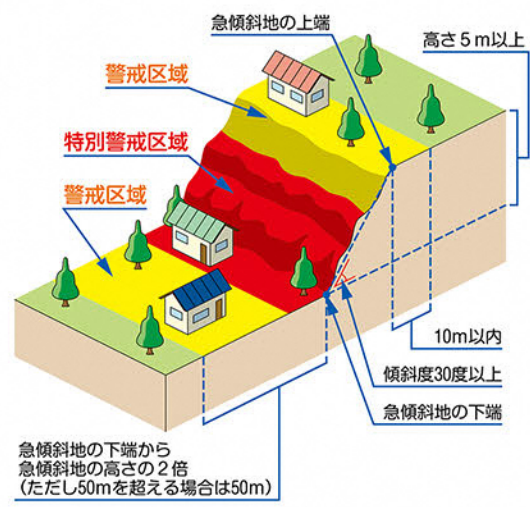
- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の先端から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域

◆土砂災害特別警戒区域（通称「レッドゾーン」）とは

イエローゾーンの内側において、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損傷が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

■かけ崩れ（急傾斜地の崩壊）の指定範囲

- 10m以内
- 傾斜度30度以上
- 急傾斜地の下端
- 急傾斜地の高さの2倍（ただし50mを超える場合は50m）



各指定区域の詳細は、東京都建設局ホームページ（<https://www2.sabomap.jp/tokyo/>）をご確認ください。

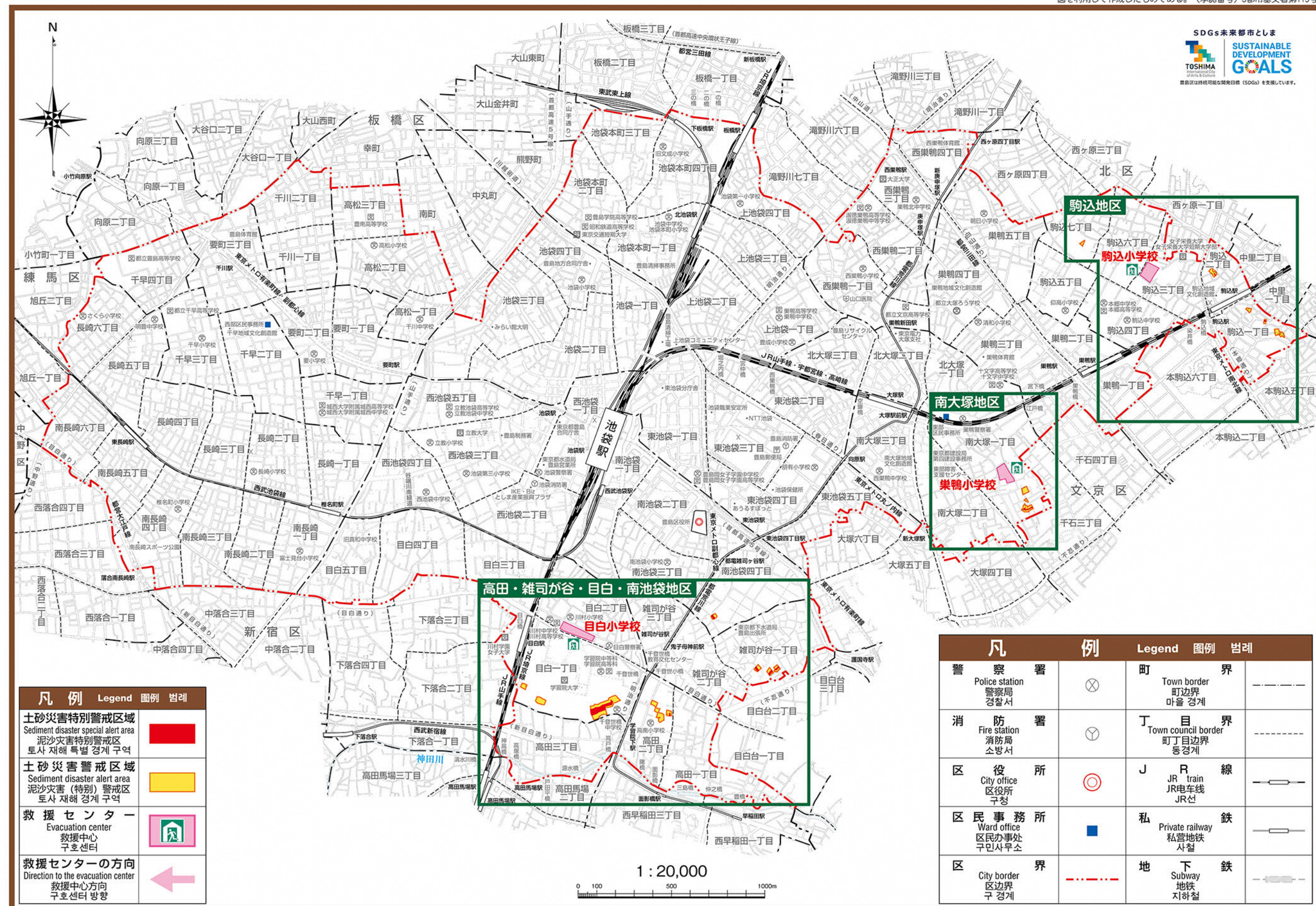
水害・土砂災害について、豊島区が出す避難情報と、国や東京都が出す防災気象情報を5段階に整理しました

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【防災気象情報】警戒レベル相当情報（等）
警戒レベル 5 命の危険 直ちに安全確保！	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保 (区が発令) 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報等
警戒レベル 4 危険な場所から 全員避難!!	災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。	避難指示 (区が発令) 地域の実情に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒警報等
警戒レベル 3 危険な場所から 高齢者等は 避難!!	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (区が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報等
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	

注意) 上記の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもありますので、情報に注意してください。

警戒レベル1・2は、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

国土交通省・気象庁・都道府県が発表



凡例	Legend	図例	記号
警察署	Police station	⊗	町界
消防署	Fire station	⊕	町界
区役所	City office	⊙	JR線
区民事務所	Ward office	■	私鉄
区界	City border	---	地下鉄



土砂災害時の救援センター

住所地	救援センター	電話番号
高田1～3丁目	目白小学校 (豊島区目白2-11-6)	3987-4801
雑司が谷1丁目 南池袋4丁目 目白1丁目	駒込小学校 (豊島区駒込3-13-1)	3918-5691
南大塚1丁目	巣鴨小学校 (豊島区南大塚1-24-10)	3946-9551

